

オフィスに潜む足元の冷え

- 窓際の冷気侵入による底冷え
- エントランスから侵入する冷気
- 頭はポカポカ足元冷え冷え

床暖を導入したいけれど...

- 間仕切り移設が容易でない...
- 設置に手間がかかる...
- 従来型だと暖まるのに時間がかかる...

問題解決！ (新OAフロアヒータ)

- 輻射式床暖房により、足元から温めます
- フリーアクセスフロアと同形状なので、移設が簡単にできます
- 上面発熱により、即暖性がUPします

利便性の向上！ (インテリジェントコントローラ)

- タブレットによる無線操作ができます
- デマンド運転等の機能により、省エネを実現します
- スケジュール運転等の機能により、自動で便利に運転できます



■ システム構成



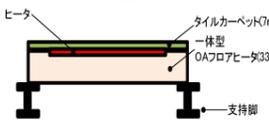
新OAフロアヒータ

新OAフロアヒータ

- ① 既設のOAフロアパネルを交換することで床暖房が実現できます。
- ② OAフロアパネルにヒータが内蔵されているため、パネルにヒータを取り付ける後工事が不要です。
- ③ ヒータがOAフロアパネル上面に取り付けてある為、すぐに温まります（下記参照）。
- ④ ヒータには過昇防止用のサーモスタットと温度ヒューズが内蔵されており、異常過熱を行わないので、安全です。
- ⑤ コネクタ接続により、施工が容易です。

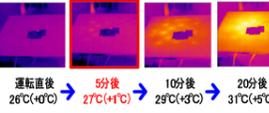
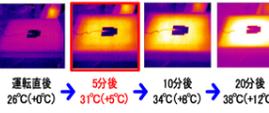
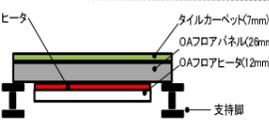
新OAフロアヒータ(上取付)

OAフロアパネルの上部にヒータを設置しています。熱が室内に伝わりやすく、またOAフロア自体が断熱の役割を果たすため、熱ロスを防止できます。

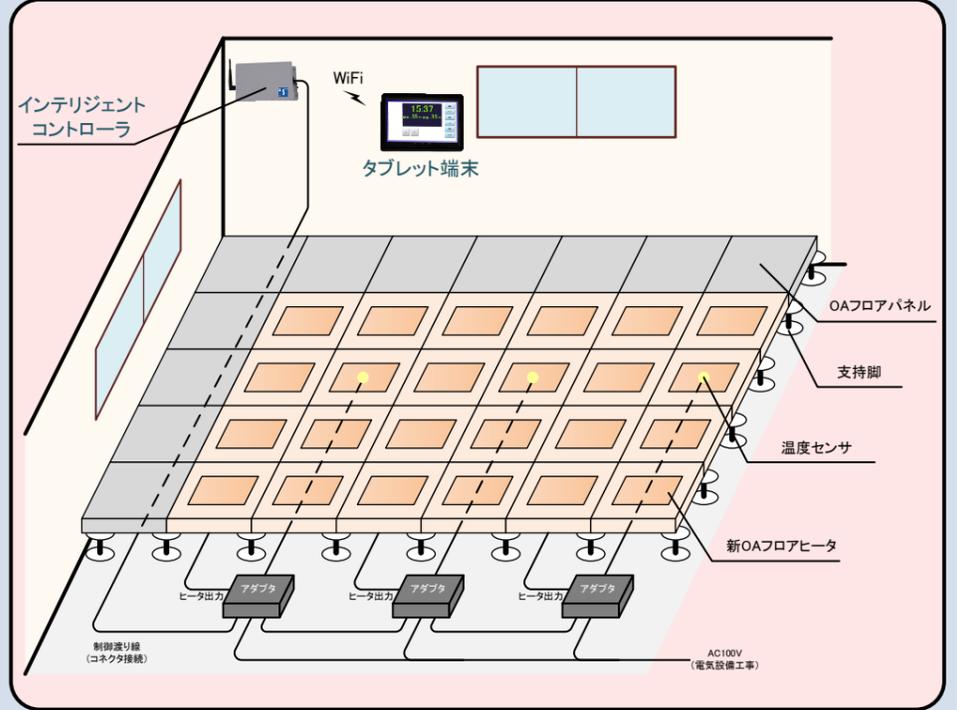


従来OAフロアヒータ(下取付)

OAフロアパネルの下部にヒータを設置しています。OAフロアを介するため室内に熱が伝わるまでに時間が掛かるだけでなく、その過程で熱ロスが発生します。



※ 当社比

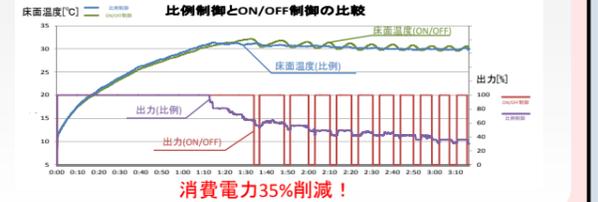


項目	仕様	備考
型式	0AFH00a-X89 0AFH00a-X89T	
寸法	W 497mm × L 497mm × H 33mm (発熱エリアは400mm × 410mm)	高さはケーブル接続部分を除く
質量	約8kg/枚	ヒータ部+ベース部
温度センサ	なし あり NTCセンサ(チ-339) 4200K ± 3% R25=55k Ω ± 5%	親機のみ
電源定格	AC100V	
消費電力	50W/枚	
ヒータ部	電気式炭素繊維面状発熱体	温度ヒューズ付
ベース部	パーティクルボード	
耐荷重	3000N (約306kgf)	集中荷重目安 φ50以上

インテリジェントコントローラ

項目	仕様	備考
電源定格	AC100V	
ヒータ出力	AC100V 8A	
機能	運転 ON/OFF 温度設定 (16~40°C, 1°C刻み) エリア設定 スケジュール設定 省エネ/暖房優先運転設定 デマンド運転設定 ピークカット設定	リモコン操作により設定 (リモコンとはWiFiにて接続)

※3



タブレットリモコン



インテリジェント
コントローラ

リモコンのインテリジェント化

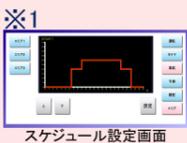
- ① スケジュール機能により、部屋を事前に暖めておく/自動で暖房を切るといった運用が行えます。 ※1
- ② デマンド運転機能により、快適さを損なうことなく電力のピークカットが行えます。
- ③ エリア設定機能で、各階の一括運転OFFなどが容易に行えます。
- ④ 簡単操作で省エネ運転/暖房優先運転の比率を変更できます。 ※2
- ⑤ ヒータを比例制御をすることで温めすぎや温度変化の波を抑えることができ、省エネで快適性が向上しました。 ※3
- ⑥ 天気予報データを取得し、天候にあった運転を自動で行います。

タブレットリモコンの採用

- ① 操作性、視認性が大幅に向上しました。
- ② コントローラとWiFi接続のため、リモコンの持ち運び・設置が自由自在です。
- ③ 専用アプリにより、お手持ちのスマートフォンやタブレットでも操作が行えます。



リモコン画面



※1
スケジュール設定画面

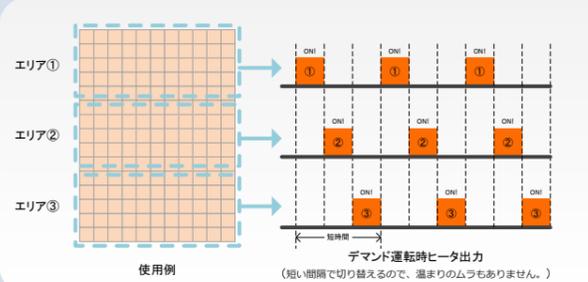


※2
省エネ/暖房優先設定画面

■ 経済性・社会性・機能性

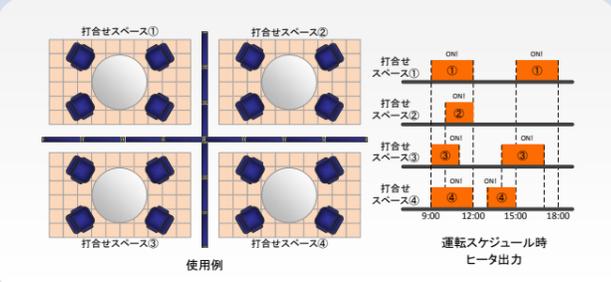
デマンド運転での電力ピークカット

間仕切り等で多くのヒータが設置されている会議室等では、デマンド運転によるピークカットが有効です。エリアを3つに分けて順番に出力して温めることで、ピーク電流を3分の1に抑えることができます。



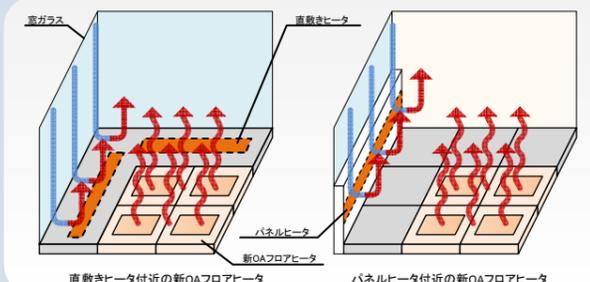
スケジュールでの自動運転

個別打合せスペース等では、スケジュールを設定することでスペースを事前に暖めておくことが出来、消し忘れも防げます。



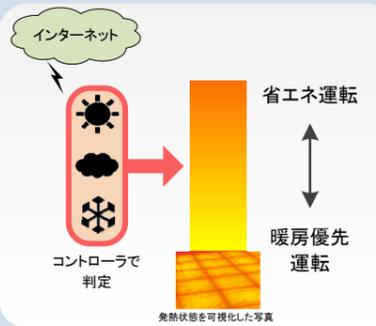
ペリメータヒータとの連携

コールドドラフト対策のペリメータヒータと連携し、温度を抑えながら底冷え対策としての運転ができます。



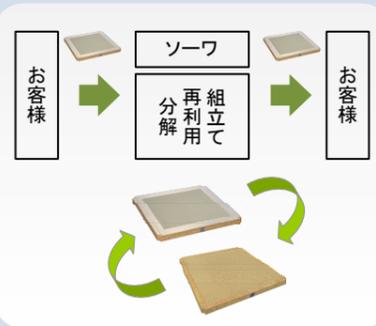
天気予報連動

インターネットから天気予報情報を取得し、天候にあわせた制御を自動で行います。



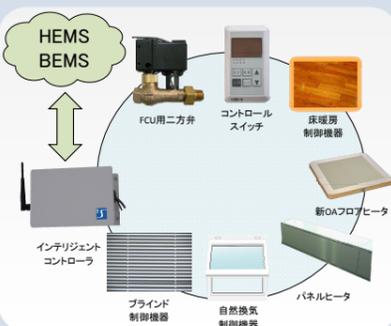
新OAフロアパネルのリサイクル

回収した新OAフロアヒータはOAフロアパネルを再利用し、ヒータ部分を交換することで再生可能です。



システム連携

インテリジェントコントローラをゲートウェイとしてHEMS、BEMSと柔軟に連携し、弊社製のあらゆる製品と接続できます。



■ 環境・デザインの評価

■ A.感性軸(造形) ■ B.機能軸(技術) ■ C.社会軸(環境) ■ D.経済軸(LCC)
Form Technology Environment Life Cycle Cost

